

指標 8.10.1

指標名、ターゲット及びゴール

指標 8.10.1 成人 10 万人当たりの商業銀行の支店数及び ATM 数

ターゲット 8.10 国内の金融機関の能力を強化し、全ての人々の銀行取引、保険及び金融サービスへのアクセスを促進・拡大する。

ゴール 8 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する

定義及び理由

○ 定義

本指標には、2つの構成要素がある。それらは、(a) 成人 10 万人あたりの商業銀行の支店数、及び(b)国内にある成人 10 万人あたりの現金自動預払機(ATM)数として定義される。

○ 概念

指標の第 1 の要素は、業界団体等が公表する商業銀行の支店（出張所を含む）の数をいう。商業銀行の支店の数は、この指標を国家間比較向けに意味を持たせるため、成人 10 万人あたりに尺度化される。

指標の第 2 の要素は、業界団体等が公表する商業銀行及び貸金業者の国内の ATM の数を指す。ATM の数は、この指標を国家間比較向けに意味を持たせるため、成人 10 万人あたりに尺度化される。

成人の人口は、18 歳以上の人と定義される。

○ 根拠及び解釈

正規の金融サービスへのアクセス及び利用は不可欠なものである。貯蓄、保険、支払い、信用、送金等のサービスは、人々の生活の管理、経費の計画及び支払い、事業の成長並びに全般的な福祉の向上を可能にする。銀行は、正規の金融サービスへのアクセスのための重要な機関の 1 つであり続けており、アクセス可能な銀行支店を持つことは、金融サービスへのアクセス及び利用の重要な初期ポイントである。銀行支店は、すべての正規金融機関の現金自動預払機等の、その他の重要なアクセスポイントによって補完され、これによって金融サービスを遠隔地まで拡張することができる。したがって、この指標は、金融サービス及び銀行へのアクセスに係る進捗状況を示す指標であるが、金融インフラやインターネット環境が十分に発達した国においては、アクセシビリティを適切に示さないことがある。

データソース及び収集方法

商業銀行の支店数・ATM 数：業界団体等の公表資料

国内成人総人口：「人口推計」（総務省統計局）

算出方法及びその他の方法論的考察

○ 算定方法

2つのサブ指標は次のように計算される。

$$(a) \text{成人 10 万人あたりの商業銀行支店数} = \frac{\text{国内商業銀行支店総数}}{\text{国内成人総人口}} \times 100,000$$

$$(b) \text{成人 10 万人当たりの ATM 数} = \frac{\text{国内 ATM 総数}}{\text{国内成人総人口}} \times 100,000$$

以下により推計した各歳の人口から、18歳以上人口を算出

各年 10 月 1 日現在人口（各歳）

= 前年 10 月 1 日現在人口（各歳）

+ 1 年間の自然動態（各歳）

+ 1 年間の社会動態（各歳）

$$\left[\begin{array}{l} \text{自然動態} = \text{出生児数} - \text{死亡者数} \\ \text{社会動態} = \text{入国者数} - \text{出国者数} \end{array} \right]$$

支店数、ATM 数については、業界団体等の公表する計数を集計することにより算出。

○ コメントと限界

商業銀行・貸金業者に、一部の先は含まれない。

ATM 数には、商業銀行・貸金業者が提供するもの以外は含まれない。

データの詳細集計

参考

政府統計の総合窓口「e-Stat」

<https://www.e-stat.go.jp/>

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search?page=1&toukei=00200524>

データ提供府省庁

金融庁、総務省、（日本銀行）

関連政策府省

金融庁

担当国際機関

国際通貨基金（IMF）